

12月の進路面談に向けて

期末テストが終わり、お子さんたちの手元に結果が返されていると思います。一喜一憂するかと思いますが、現実を受け止めていただいた上で、次の2つのことについて、お考えください。

①志望校を絞ってください

今月中に、お子さんを通して「3年生の成績(1学期と2学期の成績を総合したもの)」をお渡しします。それを踏まえて、志望校を絞ってください。

12月3日(火)～6日(金)にかけて、個人面談が行われます。ここで、志望校の最終確認を行います。特に私立高校(推薦・専願・併願いずれも)は、この面談の後での変更はできませんので、本人・ご家族で熟慮し、同意した上で、個人面談に臨んでください。



②模擬試験と過去の定期テストの活用を

公立・私立を問わず、高校入試は中学校で学習した内容を総合した問題が出題されます。従って、一年生段階、もっと言うと、小学生の段階から学習に何らかの躓きがあると、なかなか正解に辿り着けない性質の問題が主流となります。

では今後、どんな準備をすべきでしょうか?限られた時間の中で効率よく、弱点や躓きを発見するためには、模擬試験を受験するのが最も近道だと思います。そして成績表に記される正誤表から、「難易度は低いのに、自分が不正解だった問題」を洗い出すのです。難易度は、それぞれの問題の正答率から、ある程度読み取れます。正答率が高い＝難易度が低い、と考えるのが一般的だと思います。そして該当する内容が書かれている教科書を読み直したり、その内容から出題されている過去の定期テストを解き直したりすることで、少しずつ正答を増やしていけるのではないかと思います。

得点や志望校の合格確率だけに目を奪われず、模擬試験そのものの内容に目を配るよう、ご家庭でもお声がけください。

服装について

このようにタイトルを付けると、「服装が乱れているのかな?だらしなくなっているのかな?」と思われるかもしれませんが、今のところ大きな乱れはありません。ご家庭の理解と協力の賜物だと感謝しております。

ではなぜ、このようなタイトルを付けたのか？それは、「服装」というものの捉え方を私たち教職員とご家庭とで共有したいと考えているからです。

私たちはお子さんたちに「時と場所にふさわしい服装」を自分たちで判断できる力を養わなければならないと考えています。

釜利谷中学校には、標準服があります。お子さんたちが着用して登下校したり授業を受けたりすることで、「何であんな格好をさせるんだ？」と、周囲に不快感や違和感を感じさせることはないと思います。なお、ネクタイやジャケット、女子の指定ベストの着用は、季節や温度に合わせて自己判断で着用（要するに任意）となっていますが、仮にそれらを着用していなくても、通常の学校生活を送る上では、不快感や違和感を周囲に与えることはないと思います。一般社会でも「クールビズ」という考えが広まり、ノーネクタイやポロシャツで勤務することを許容する動きが広まってきていることが背景にあると考えられます。

では、いわゆる冠婚葬祭の際に「クールビズ」スタイルで参加するのでしょうか？暑いからと言って、セレモニーの最中に上着を脱いだり、ノーネクタイだったり、派手な色や柄の靴下を履いたりして参加すれば、周囲に違和感、場合によっては不快感を覚えさせるのではないのでしょうか。

フォーマルな場での服装や振る舞いを適切に判断できるように、本校では入学式や卒業式、また始業式や終業式など、「式」と名の付くセレモニーの際には、標準服に加えてネクタイと指定ベスト(女子のみ)を着用する「完全正装」で出席するよう指導する必要があると考えております。この「完全正装」は、「釜利谷中学校の生徒として、どんなフォーマルな場所に行っても、周囲に不快感や違和感を与えることはない、と釜利谷中学校が考えている服装」だからです。

そのような観点から、多くの初対面の人とフォーマルな場で出会うことになる高校入試当日は、「完全正装」で臨むよう、学校としてお子さんたちに指導して参ります。見落としがちですが、周囲から注目されやすい靴下に関しても同様に考えております。当然、学力検査中もネクタイを締めることとなりますので、日頃からある程度慣れておく必要があると思います。そういった声かけを学校では行って参りますので、ご家庭におかれましては、ご理解とご協力をお願いいたします。



今後の予定

11月22日（金） 専門委員会

11月25日（月） 生徒朝会

11月26日（火） 進路用写真撮影（事前に希望していた生徒は500円持参）

11月29日（金） 資格証明書等コピー提出日

12月3日（火）～6日（金） 3年個人面談